

IGS 支部紹介： IGS インド支部

IGSインド支部 A. R. G. Rao

1. ジオシンセティックスの工学的使用についての認識

灌漑電力庁 (CBIP) は、様々な工学的分野に適用されるジオメンブレンなどを含むジオシンセティックスの用途の広さと実用性についての認識を広め深めるために、早くからイニシアティブをとってきた。CBIPは広範囲な工学分野に適用されるジオシンセティックス材料を普及させて、製造業者とユーザー組織の代表に相互情報交換と討議の場を提供するため、ジオメンブレンとジオファブリックスに関するワークショップを1985年に組織した。

この活動はニューデリーで1986年8月に開催された補強土ワークショップにより引き継がれた。

2. CIGSIの構成

ジオメンブレンとジオファブリックスに関する最初の国内ワークショップが開催されたのを契機としてインド・ジオテキスタイルグループ (IGG) が、CBIPにより1987年初めに設立された。IGGの主要な目的は、次のとおりである。

- 1) ジオテキスタイル、ジオメンブレンおよび関連製品に関する全ての情報を収集し評価して、普及させること。
- 2) ジオテキスタイル、ジオメンブレンおよび関連製品の情報交換と理解を促進し、実用化を図ること。
- 3) ジオテキスタイル、ジオメンブレンおよび関連製品の最先端技術水準の進歩を促進し、実用化を図ること。
- 4) メンバー間のジオテキスタイル、ジオメンブレンおよび関連製品についての試験方法、試験装置、基準を統一すること。

IGSインド支部の設立のためのIGS総会が、ボンベイで1988年12月に開かれた。この総会においてCBIPの幹事であったVarma氏は、インドにおけるIGSの目的を進めるために、全ての制度的な支援を行うことを、当時IGS会長であったGiroud氏に約束した。1989年にIGSは、正式にIGSインド支部を承認した。

それを受けCBIPは、IGGメンバーのサポートにより1992年に再びイニシアティブをとった。1992年6月にはCommittee for International Geotextile Society (India)-CIGSIをIGSインド支部およびIGGとして機能するものとして、法律に基づき正式に登録した。

その時以来 CIGSI は、Varma氏の指導の下CBIPの事務的な支援を得てその活動を進めてきた。CIGSIの目的は次のとおりである。

- 1) ジオテキスタイル、ジオメンブレンおよび関連製品、さらに自然材料に関する全ての情報を収集し、それらを評価し、広めること。
- 2) セミナー、シンポジウム、会議などを促進すること。
- 3) 論文や参考図書を出版あるいは後援すること。

- 4) CIGSIの科学的、技術的目的に関係する参考図書収集を維持すること。
- 5) ジオテキスタイルとその適用に関する情報交換と理解を促進すること。
- 6) 会議の開催と論文集の出版を通して、ジオシンセティックス関連の設計者、製造業者、ユーザー間の特にテキスタイル、建設技術、プラスチック関連の三者間に情報交換と理解を深めるための場を提供すること。
- 7) ジオテキスタイルとその適用に対して関心のある他団体との連絡を確立すること。
- 8) ジオテキスタイルとその適用に関する科学と技術の発展を推進すること。

CBIPとCIGSIは、異なる機関により組織された様々なイベントを通して、このような材料の普及と新たな適用法を開発することに努力している。

3. ワークショップ、セミナー開催報告

CIGSIはジオシンセティックスの建設分野への適用を普及させるため、積極的に活動している。1996年に開催されたものの一部を次に紹介する。

- 1) Workshop on Role of Geosynthetics in Hill Area Development
22-24 February 1996, Gaangtok, Sikkim.
- 2) Workshop on Engineering with Geosynthetics
14-15 March 1996, Visakhapatnam
- 3) Workshop on Ground Improvement with Geosynthetics
16 March 1996, Kakinada
- 4) Workshop on Engineering with Geosynthetics
20-23 May 1996, Chandigarh
- 5) International Seminar and Technomeet on Enviromental Geotechnology with Geosynthetics
30 July- 3 August 1996, New Delhi

4. ジオシンセティックス・アジア '97

インドとアジア各国においてジオシンセティックスに対する関心は高まってきており、多くの実績と研究成果を共有するためにジオシンセティックス・アジア '97がCIGSIとCBIPの主催により開催される。この会議はIGSの後援を得て、アジア地域会議と位置付けられ、次のとおり企画されている。

開催期間：1997年11月26～29日

開催場所：Bangalore, India

テーマ：I. ジオシンセティックスに関する試験法

II. 補強材

III. フィルター材・排水材

IV. 環境分野への適用

V. 経済効果

Bangaloreはインドのシリコンバレーとして急速に発展しつつある都市でもあり、多くの世界各国から多くの参加者が集われることを期待している。

(原文は英語：赤木俊允、小浪岳治訳)